



市章

真庭市議会広報

第57号

令和元年[2019年]
8月1日発行

議会はクールビズに取り組んでいます

2020
秋

晴海プロジェクト P12

まにわ

特集:議会報告会
+市民と語る会

3班	1班
4班	2班

令和
元年

青の付せん紙

MANIWA CITY

議会報告会 + 市民と語る会

市民と語る会は、付せん紙に意見や要望を書いていたゞき分野ごとに話を展開しました

▼外から見た景色



▼旧上田小学校(現:UEDA VILLAGE)の八角堂 7月2日(火)午後1時30分～ 19人が出席しました



1 班

副班長：福井 荘助 河部 辰夫
古南 源二 柴田 正志 竹原 茂三

湯原、八束、河内へ

1班 班長 入澤 廣成

私たち1班は、7月3日・社コミュニティハウス、4日・蒜山振興局、5日・八幡公民館の3日間でした。社コミュニティハウスでは54名と多くの方の出席をいただきました。参加者からは、観光バスで訪れる観光客もいるが、道が狭く駐車場やトイレもない。有害鳥獣被害、特に猿対策をどうにかして欲しい。湯原温泉病院に介護老人保健施設はできないか等、多くの意見が出ました。蒜山振興局には9名の参加でした。市民からは、放課後児童クラブのスタツフは女性だけだが、男性が採用できないのか。河川の浚渫はしてもらえないのかなどの意見が出ました。

八幡公民館は、地域から公募の要請を受け、15名の参加がありました。あらかじめ受けていたテーマは線路脇の草刈り、高速道下農道の舗装、浚渫の3点で

した。その他市民からは昨年の豪雨で避難したが、最低でも毛布、水、トイレが使えるようにして欲しい。と厳しい指摘を受けました。

昨年までの報告会は主に個々の市民に参加いただきましたが、今回は、地域団体の公募等、新たな取組での有意義な報告会でした。合併して15年、各自治会での悩みなど、私たち議員が地域に向き、地域の皆さんの意見を拝聴し安心安全な真庭市を目指さなくてはなりません。私たち議員は市民の代表として頑張つてまいります。



2 班

副班長：妹尾 智之 大月 説子
緒形 尚 谷本 彰良 中本 唯資

落合垂水、北房、富原へ

2班 班長 原 秀樹

「議会報告会+市民と語る会」で2班は、北房文化センター、落合総合センター、富原公民館の3地区で延べ51名の方の参加をいただき、1部では各常任委員会の報告を行い、2部では各地域の抱える課題を中心に有意義な意見交換ができました。御参加いただいた方々に厚くお礼を申し上げます。落合総合センターでの開催は、垂水

向津矢住民会の皆様のご要望により実施しました。ご意見として、旧落合振

興局の跡地の活用策について、議員の報酬について、議員活動で定例会以外の活動について、晴海プロジェクトについて等ご質問をいただきました。北房文化センターでは、河川の浚渫について、老人クラブの助成金等について、人口減少に対する施策について等ご質問をいただきました。

富原公民館では、災害復旧工事の復旧状況について、指定避難所の富原小学校のトイレ等の改修について、医療機関の設置について、振興局の職員配置の要望について（地元職員配置・災害時の問題）等各会場とも重要なご意見をいただきました。時間の都合上全てのご質問にお応え出来なかつた状況で、後日文章にて回答することをご了承ください。いただいた地域もありました。

皆様からいただいた意見を基に政策提言に繋げていきたいと思えます。今後とも宜しくお願いたします。



真庭市議会報告会

+ 市民と語る会

地域の課題を

遷喬、月田、川上へ

3班 班長 築澤 敏夫

私たち3班は、市民と市政を考える「議会報告会+市民と語る会」を開催し、市民に親しまれる身近な議会を目指して、東町住宅、月田公民館、才東集会所の3会場を訪問しました。

議会報告会では、各常任委員会より活動報告を行いました。質疑応答の後、市民と語る会「ざっくばらんに語ろう」において東町住宅では、昼間に開催し、年配の方々に参加いただき、会場の和室で和やかな雰囲気でも語りあいました。意見としては、市営住宅の環境整備、屋根の修繕等、安心安全な生活を求める意見が多く、自治会として要望するよう助言しました、とても親しみのある会場でした。

その他の会場においても、子どもに関係する意見として、子どもを地元に戻す方法は、地場産業の推進、子ども

3班

副班長：氏平篤正 岩本壮八
小田康文 柿本健治 庄司史郎

の出生率、産み育てやすい環境づくり、スポーツの活性化、場所の確保等がありました。高齢者対策として移動手段、生活の足の確保、まにわくんの活用見直し、買物難民対策等の意見がありました。

また、真庭スタイル推進状況や晴海プロジェクト、有害鳥獣対策の強化等の声も聞き、意見交換をすることができました。

多くの貴重な意見ありがとうございました。今後も開かれた議会づくりに向け頑張つてまいりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。



ざっくばらんに語ろう

まよとじめ

田原山上、遷喬、勝山へ

4班 班長 初本 勝

私たち4班は、旧上田小学校、久世公民館、荒田公民館に向き、参加者の皆さんと意見交換を行いました。

参加者からは、どの地域でも高齢化になり、コミュニティ活動を行う労働力、資金等拠出が難しくなり、地域の草刈りにも大変苦労する・安心して暮らせる農業基盤づくり・地域の交通手段、高齢者が免許を返納した後の生活の足の確保

4班

副班長：中尾哲雄 岡崎陽輔
長尾 修 福島一則 山本久恵

が必要・道徳が教科化となり、子どもたちはどのように変わったか・晴海プロジェクトは白紙で調査するのか・真庭全体の観光客が減少しているのは鳥取県の道路事情もあるのか・土嚢は無料で配布するのか・荒田、重則地区はまにわくんの幹線があるのでまたよいが、仁子、大平地区は高齢化と人口減少で移動も大変になっている・勝山地区の小、中学校の改修はいかなるものか・障がい者の就労支援、居場所づくりを・有害鳥獣で大変困っている。有効な対策を取ってほしい等、多くの貴重な意見をいただきました。特に、人口減少対策、高齢化対策については各会場とも関心がとても高いと感じました。

皆様からいただいた意見を参考に政策提言や議会活動に繋げ、今後も市民の負託、信頼に応えるべく頑張つてまいります。



議会報告会+市民と語る会に228人

7月1日～5日 市内12会場で開催

7月1日～5日、市内12の公民館やコミュニティハウスで令和元年度の議会報告会+市民と語る会を開催しました。参加者の内訳は、久世東町住宅9人、月田公民館24人、旧上田小学校19人、久世公民館10人、落合総合センター31人、荒田公民館26人、社コミュニティハウス54人、川上才東集会所11



年齢は	20歳未満	0.0%
	20歳代	0.5%
	30歳代	2.9%
	40歳代	7.7%
	50歳代	23.6%
	60歳代	34.1%
	70歳代	21.6%
	80歳以上	9.6%
性別は	①男性	81.7%
	②女性	18.3%
地区名は	①北房	3.8%
	②落合	25.5%
	③久世	9.6%
	④勝山	29.3%
	⑤美甘	0.5%
	⑥湯原	20.7%
	⑦中和	1.0%
	⑧八束	2.9%
	⑨川上	6.7%
何で知った	①議会だより	28.2%
	②チラシ	26.1%
	③告知放送	10.9%
	④市ホームページ	2.8%
	⑤新聞記事	2.8%
	⑥真庭いきいきテレビ	3.5%
	⑦議員・知人から	16.5%
時期は	①参加しやすかった	87.5%
	②参加しにくかった	5.3%
	③自由意見	0.0%
議会報告会	①分かりやすかった	51.9%
	②分かりにくかった	6.3%
	③どちらとも…	32.2%
市民と語る会	①分かりやすかった	58.2%
	②分かりにくかった	2.9%
	③どちらとも…	22.6%
	④改善すべき点	0.5%
感想は	①良かった	35.1%
	②普通	24.5%
	③悪い	1.0%
今後の参加は	①今後も参加する	52.9%
	②今後は参加しない	1.0%
	③どちらとも…	17.8%
議会広報まにわ	①ほとんど読んでいる	40.4%
	②ときどき読む	28.4%
	③読む事がある	8.7%
	④読まない	1.4%
ホームページ	①よく見る	10.6%
	②ときどき見る	20.7%
	③見た事がある	15.9%
	④見ない	27.4%

※100%にならないのは、その他や回答なしがあるため

当日は出席議員の自己紹介の後、文教厚生常任委員会から、この2年で政策提言した障がい者の就労支援と放課後児童クラブ支援について、総務常任委員会から災害時の私の避難プランの作成と警戒レベルについて、産業建設常任委員会から平成30年7月豪雨災害での道路等の



月豪雨災害での道路等の
 築澤敏夫議会運営委員会委員長のコメント「様々なご意見ありがとうございました。皆様からいただいたご意見は政策提言へとつないでまいります」
 議会報告会+市民と語る会正副班長・議会運営委員会合同会議がまとめる正式な報告書は、11月上旬にホームページ及び議会事務局にて閲覧できます。(文・氏平)

人、北房文化センター9人、蒜山振興局9人、落合八幡公民館15人、富原公民館11人で、昨年より60人増えました。今回は「私たちの所に来て！」という地区を募集したところ、5地区から申込をいただきました。設定した会場が狭く、2地区は該当自治会のみ参加となりました。

災害復旧状況について、各5分～10分で説明しました。プロジェクターでスクリーンに資料を映すとともに、紙資料も配布しました。次に「地域の課題をさつばらんに語ろう」と題して、市民と語る会を展開しました。付せん紙に意見を書いていただき、ボードに分野ごとに分けて貼り、各項目ごとに話を進めていく方法で実施しました。回を重ねるごとに、司会も上手くなり、特別な問題もなくスムーズに進行できたと考えております。



▲7/5 富原公民館 (中段写真) 7/1 久世東町住宅 ▲7/3 社コミュニティハウス



▲議会報告会+市民と語る会正副班長会メンバー
議会運営委員会(P21写真)と共に計画しました

意見感想

若い人が少しでも増えていく政策を：・結婚問題の推進・いのしし、サルスの駆除を・議員の定数を検討すべき・インターネット、ラインつながりません・南にはかり力を入れていく：・老人の問題は直近の緊急課題・議会は行政へ積極的にかかわることが大切・最近の市は私たちを置き去りにして新しいことを進めている・人を集める時がきているのではと思う(一極集中)・明るい住みよ

い真庭にして：・MITを欠かさず見ている・前回津田地区で参加した時より、議員の報告や対応も随分好印象・「市議は副業」と思わず、市政発展のために努力を・市になり職員の状態悪く、適当過ぎ・明日は我が身、福祉の事をもっと本気で：・スポーツ施設の無料化・北房のホテルの取組を全市の取組に・空家を地域で利用すると税と光回線料金免除を・議員間の自由討議を実施しては。

MITで「議会の時間」を設けて、情報発信してほしい。久世の学童保育は、二丁ズはあるが断っている状況 施設、人員を充実し、子育て支援に力を入れて・市民の声を集めて、討論して、政策提言の流れはとも良い・議会のホームページについて知らなかった・視察報告会を開催し、市民や市政に還元してほしい・広報活動の基本は、足を使って語ること・市民の声を大小にかかわらず、しっかりと市政へ伝えて・議員主催による「外国人妻の会」を作ってほしい。(広報委員が抜粋)

来年も開催
来年も開催する方向で調整しています。時期は未定ですが、今年と同じ班編成で、各地を訪問する予定です。



政務活動費を公表

政務活動費は、地方自治法に基づき「真庭市議会政務活動費交付条例」で定められた議員の調査研究その他の活動に費やすため必要な経費として交付されます。月額3万円を年度当初に一括交付し、残余がある場合は返還することになっています。真庭市議会では1円以上のすべての領収書の

提出を求めています。平成30年度の精算内容を議会ホームページ及び議会事務局にて公開しています。



議員氏名	交付額	精算額	返還額	議員氏名	交付額	精算額	返還額
入澤 廣成	360,000	151,492	208,508	妹尾 智之	360,000	345,789	14,211
岩本 壯八	360,000	113,536	246,464	竹原 茂三	360,000	150,181	209,819
氏平 篤正	360,000	229,961	130,039	谷本 彰良	360,000	298,063	61,937
大月 説子	360,000	199,618	160,382	築澤 敏夫	360,000	218,001	141,999
岡崎 陽輔	360,000	15,512	344,488	長尾 修	360,000	23,912	336,088
緒形 尚	360,000	257,738	102,262	中尾 哲雄	360,000	185,848	174,152
小田 康文	360,000	206,561	153,439	中元 唯資	360,000	193,801	166,199
柿本 健治	360,000	360,000	0	初本 勝	360,000	179,904	180,096
河部 辰夫	360,000	200,821	159,179	原 秀樹	360,000	224,323	135,677
古南 源二	360,000	262,123	97,877	福井 荘助	360,000	360,000	0
柴田 正志	360,000	342,651	17,349	福島 一則	360,000	212,415	147,585
庄司 史郎	360,000	174,804	185,196	山本 久恵	360,000	146,539	213,461
				合計	8,640,000	5,053,593	3,586,407

平成30年度の政務活動費の交付状況 (円、五十音順)

6月定例会

会期5月31日~6月21日

令和元年度6月補正予算

6月議会の会議録は9月上旬、ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

2億1,582万円を可決しました

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	2億1,582万円	298億0,382万円	2.6%増
特別会計	0万円	130億6,460万円	増減なし
公営企業会計	0万円	64億8,845万円	2.4%減

【主な内容】今回の一般質問は12人

- ・補正予算1件を可決 議案7件を可決
- ・請願1件を採択 陳情9件のうち、2件を採択、1件を趣旨採択、1件を不採択、5件を継続審査としました

(単位:万円、千円を四捨五入)

補正後の全会計予算額

対前年比

493億5,686万円

5億9,224万円(1.2%)増

蒜山⇄晴海プロジェクト 調査費に4000万

一般会計 主な歳出

SDGsによる地方創生の取組を通じて、持続的発展の実現を目指す地域循環共生圏推進事業246万円、旧中津井小学校・幼稚園解体事業6,259万円、地球温暖化防止を指すスクールチョイス推進事業243万円、低所得者等を対象としたプレミアム付商品券事業6,174万円、バイオ液肥の散布体制を構築する液肥活用推進事業800万円、蒜山⇄晴海プロジェクト推進事業4,000万円。市議会議員人件費1,205万円。

【討論あり】【反対】岡崎陽輔 議員

商工観光費 蒜山晴海プロジェクト推進事業に係る予算は全額削除し、明確な維持管理運営方針と維持管理コストを明らかにして、あらためて地域住民の声を聞くことが必要だ。予算組み替えを市長に求める。理由は先の議案第53号の反対理由と同趣旨である。

【賛成】なし

▼議案に賛成した議員：緒形尚、妹尾智之、岩本壯八、福島一則、柴田

正志、谷本彰良、原秀樹、山本久恵、竹原茂三、庄司史郎、初本勝、河部辰夫、長尾修、入澤廣成、福井莊助、柿本健治、中元唯資、小田康文、大月説子、築澤敏夫、氏平篤正

▼議案に賛成しなかった議員：岡崎陽輔、中尾哲雄 ※議席番号順

絵はイメージ



© Kengo Kuma & Associates

過疎計画を変更

(議案第53号) 財源として過疎債を活用するため、真庭市過疎地域自立促進市町村計画に蒜山⇄晴海プロジェクト推進事業を計上しました。

【変更理由】限研吾建築都市設計事務所がデザイン監修し、真庭のCLT(直交集成板)を使用した展示施設を

東京晴海から蒜山に移築し、新たなランドマークとする。観光客誘致及び芸術文化の発信拠点として活用し、真庭全体の地域経済の活性化を推進する。

【討論あり】【反対】岡崎陽輔 議員

①蒜山の振興は積極的に行うべきだが、ハード先行でなく、計画段階から住民との合意形成を図るべき、プロセスが逆だ。②建物の運営方針、維持管理費用、事業効果を十分検討した上で判断すべき。③多額の経費を伴う事業は、市民とのコンセンサスを慎重に求める。

【賛成】なし

▼議案に賛成した議員：緒形尚、妹尾智之、岩本壯八、福島一則、柴田

正志、谷本彰良、原秀樹、山本久恵、竹原茂三、初本勝、河部辰夫、長尾修、入澤廣成、福井莊助、柿本健治、中元唯資、小田康文、大月説子、築澤敏夫、氏平篤正▼議案に賛成しな

かった議員：岡崎陽輔、庄司史郎、中尾哲雄 ※議席番号順

給食費を公会計方式に

学校給食費をこれまでの私会計方式から、公会計方式に移行するために、学校給食費の管理に関して条例を制定し、合わせて教育委員会の付属機関に真庭市学校給食審議会を新たに設置等するため、条例の所要の改正



おいしい給食いただきます 月田小学校

を行うものです。これによって、学校給食費の明確化と会計処理の透明化等や教職員の事務負担の軽減、保護者の利便性が向上します。

Q 食物アレルギーが有る生徒の減免基準は有るか

A 細かい分類はできないが、牛乳の摂取の有無など考慮している。

Q 真庭市学校給食審議会メンバーは真庭市全体で人選を

A 委員は、真庭市内で15名以内を想定している。

車3台を購入

標準使用年数、使用時間を超え経年劣化により作業効率低下のため、除雪ドーザ(8t級)2台を購入しました。(川上・八束に配備)

また、高規格救急自動車1台を購入し、美新分署へ配備します。



除雪ドーザ

旧中津井小用地を売却

昨年北房地域4小学校の統合により、廃校となりました旧中津井小学校と旧中津井幼稚園は、本年末までに解体し、令和2年3月までに「社会福祉法人吉美会」へ3,367万円で売却します。



解体する旧中津井小学校校舎

真庭スポーツ振興財団が誕生

株式会社おちあい振興公社から一般財団法人真庭スポーツ振興財団に、法人格を変更します。指定管理運営の内容は同じで、期間は令和6年3月31日までです。



財団が管理する落合白梅体育館

陳情

ゲートボール場を管理

【採択】 真庭市上水田英賀スポーツ公園の閉鎖に伴い、屋根付きゲートボール場の一括管理を、北房ゲートボール協会に一任することを求める陳情です。このゲートボール場は、真庭市民の大会会場として、また北房協会会員の練習場等、ゲートボールを愛好する市民の大切な施設であるため、審査の結果、全会一致で採択と決しました。

教職員定数改善

【採択】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について陳情が提出されました。

奥山を天然林に

審査の結果、全会一致で採択と決し、意見書を内閣総理大臣、文部科学大臣などに提出しました。

【趣旨採択】

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書について、市の考えと異なるが趣旨は理解できると、審査の結果、趣旨採択と決しました。



英賀スポーツ公園のゲートボール場

次ページへ

前ページから

【継続審査】()は陳情者

◆「CLT晴海プロジェクト」を契機とした真庭市全体の地域振興についての陳情書(真庭商工会)◆陳情書:「CLT晴海プロジェクト」の実現と観光振興について(一般社団法人真庭観光局)◆「CLT晴海プロジェクト」についての陳情書(真庭森林組合、真庭木材事業協同組合)◆辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情(新しい提案)実行委員会)◆辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情(全国青年司法書士協議会)

主な議決内容



10月末から解体する目木構(東側から撮影)



庭園とムクノキは残します

【不採択】

真庭市の歴史的民家 目木構(めきがまえ)の保存と調査・公開についての要望書が目木構研究会より提出され、審議の結果、委員会の決定どおり不採択となりました。

①解体のスケジュールはどう考えているか。

②建物や庭園、ムクノキ等の調査はしたのか。③模型や映像を制作するのか。④小学校等に展示室を設けるのか。

①10月に入札、10月末から解体を始め、来年3月に完了し、更地にして返却すると地権者と約束して

文化遺産を地域の誇りとして後世に伝えていくような要望であり、教育委員会が進めているふるさとを知り、ふるさとへの思い、愛情を育む「郷育教育」に結びつくもので、市の考え方に合致するもの。325名にのぼる署名があり、市民の切実な要望に沿い、委員会の決定に反対する。

【賛成】竹原茂三議員

目木構の保存については、地権者の要望で取壊すため、当初予算に上程され、議会において議決している。また保存、調査・成果報告についても325名の署名を受け止め、執

【討論あり】【反対】中尾哲雄議員

いる。②建物の調査はH28に終了している。庭園、ムクノキはそのまま残す。③内容の検討が必要だが前向きに考えている。④非常に難しい。

行部において検討することになるので委員会の決定に賛成する。

▼陳情採択に賛成した議員:中尾哲雄

▼賛成しなかった議員:緒形尚、妹尾智之、岩本壯八、福島一則、岡崎陽輔、柴田正志、谷本彰良、原秀樹、山本久恵、竹原茂三、庄司史郎、初本勝、河部辰夫、長尾修、入澤廣成、福井荘助、柿本健治、中元唯資、小田康文、大月説子、築澤敏夫、氏平篤正

※議席番号順

請願

地方財政の充実・強化

「地方財政の充実・強化を求める」請願の審査は、社会保障費増をはじめとした増大する地方自治体の財政需要に対応するため更なる地方財政の充実・強化を国に求めるものです。審査の結果、全会一致で採択と決し、意見書を内閣総理大臣、財務大臣など7人に提出しました。

傍聴される方は4階へ

真庭市議会の本会議・委員会を間近で傍聴してみませんか。議会広報の紙面では、お伝えできない議員の生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。



▶6月定例会の様子

総務常任委員会

本委員会では、5月15日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《危機管理課》

■災害に強いまちづくりを目指して
真庭市でも多くの被害が発生した西日本豪雨災害から早一年が経過しました。この災害を教訓とし、「命を守る」ことに重点を置いた「自助」「共助」「公助」それぞれの役割における地域の防災力強化の取り組みについて説明がありました。

今年度は、昨年の防災説明会で判明した課題の解決に向けて、地域からの意見を反映し、指定緊急避難場所の見直しを行うとともに、6月から7月にかけて市内14箇所で開催された防災説明会を開催し、地域の防災意識のさらなる向上を図ります。

今回は特に、災害発生時の迅速かつ的確な避難支援のため、支援の必要な方一人ひとりについてあらかじめ個別の対応方法をまとめておく「私の避難プラン（個別計画）」の作成を呼びかけています。

この計画は、市が自主防災組織へ

提供する情報を元に、自主防災組織を中心として、民生委員や社協・自治会等の直接支援に携わるメンバーが、要支援者本人の意向を尊重しながら

から連携して作成するものであり、取り組みを進める上では地域の皆さんの協力が欠かせません。

警戒レベル4で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期から、警戒レベルを用いた避難情報が発令されます。
警戒レベル3,4が発令された地域にお住まいの人は、速やかに避難してください。



逃げ遅れゼロへ!!

【警戒レベル5】(市町村発令)は既に災害が発生している状況です。

逃げ遅れゼロへ! 真庭市も警戒レベルによる避難情報を開始

- 樹良成文二夫則恵
- 秀彰 廣康 源敏 一久
- 本澤田 南澤 島本
- 原谷 入小古 築福 山
- 委員長 委員 委員 委員 委員
- 委員長 委員 委員 委員 委員

A 避難場所の見直しについては、各振興局単位で地元へ意見を伺っています。

Q 昨行われた地域防衛で決定した指定緊急避難場所が、新たな防災マップに掲載されることになるのか。

A 昨行われた地域防衛で決定した指定緊急避難場所が、新たな防災マップに掲載されることになるのか。

本委員会では、市民の安全・安心の確保は最重要課題であり、議会としても市民の皆さんへ早急に情報提供を行うことが必要と考え、「私の避難プラン（個別計画）」を、7月1日から実施した議会報告会でのテーマに取り上げ、広く周知を図ることとしました。これからの皆さんのご意見をお聞きしながら、災害に強いまちづくりを目指し、調査研究を進めてまいります。

A 今回の方針は、施設ごとの個別計画策定が困難であったため、施設分類ごととしたものであり、方針の中で該当する施設については、個別に検討を進めていく。廃止や統合の場合は、地元への説明等できる限り早く周知する。

Q 施設の維持・廃止・統合といった選定はどのように行われるのか。

真庭市では、人口や財政規模に合った適正な公共施設等の配置を行い、持続可能な地域づくりを実現していくため、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共建築物の延床面積を40年間で40%削減することを目標にしています。真庭市にふさわしい公共施設の再配置を検討する上では、面積や施設数を一律に削減することは困難であるため、中・長期的な視点が重要との認識に立ち、目標達成に向けて施設分類ごとに策定した今後10年間の具体的な方針について説明がありました。真庭市のこれからの公共施設あり方を市民の皆さんと共に考えていく必要があります。

《総務部》
これからの公共施設のあり方とは
真庭市では、人口や財政規模に合った適正な公共施設等の配置を行い、持続可能な地域づくりを実現していくため、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共建築物の延床面積を40年間で40%削減することを目標にしています。真庭市にふさわしい公共施設の再配置を検討する上では、面積や施設数を一律に削減することは困難であるため、中・長期的な視点が重要との認識に立ち、目標達成に向けて施設分類ごとに策定した今後10年間の具体的な方針について説明がありました。真庭市のこれからの公共施設あり方を市民の皆さんと共に考えていく必要があります。

文教厚生常任委員会

本委員会では、5月17日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《教育委員会》

■自動車文庫運行スタート

生涯学習課から自動車文庫運行の報告がありました。図書館の利用が不便な方の本を読む機会や学習する機会を充実するために1,000冊程度の書籍を乗せて運行するものです。個人の貸し出しを対象とし、貸出冊数は1人につき10点以内で、貸出期間は次の巡回日まで、1か月に1回の周期で30か所を巡回する計画です。巡回場所は10人程度の利用者が見込める安全で人が集まりやすく、十分な駐車スペースが確保されている小学校やコミュニティハウスを中心に検討されています。6月から試行運行を行い、7月上旬から本格稼働が始まります。

車体には「まにぞう」の絵をラッピングし、子ども達をはじめ、皆さんに親しんでいただける自動車文庫運行を目指します。



勝山こども園児と祝う新しい自動車文庫 ブックるんまにわ

《生活環境部》

■クールチョイスで省エネ体験

環境課から6月補正予算要求事業として真庭市クールチョイス推進事業の報告がありました。真庭市ク

ールチョイス推進事業にはエコキャンダル教室や小水力発電実証検討などの事業があります。小水力発電は蒜山への設置を進めています。

- 輔子正治志之三雄
- 陽説篤健 正智茂哲
- 崎月平本 田尾原尾
- 岡大氏 柿柴妹竹中
- 委員長 員 員 員 員
- 委員 委 委 委 委

今回、補助金の活用により、省エネ家電体験講座やクールチョイスエコプログラミング講座をはじめ、新たに6事業を追加するものです。

2020年度から小学校のプログラミング必修化により注目が集まるプログラミングを活用して省エネルギー体験をしていただくという先進的な事業に取り組みます。

Q 補正予算を要求するタイミングがなぜ今なのか。急ぎすぎではないか。

A クールチョイス推進事業は幼児、小学生をターゲットにしており、夏休みの時期

に事業に取り組みたく、このタイミングで要求する。

■共助による地域の「あし」の構築を目指して

くらし安全課から共助による地域の「あし」構築事業について報告がありました。この事業はNPO法人や地域自主組織などの地域主体による地域内交通の仕組みづくりと、モデル地区による運行準備に係る支援を行うものです。通学・通院・住民主体の地域振興・地域内雇用・市内消費の促進など、あらゆる住民活動の根幹を支える部分である「地域のあし」を構築します。

Q どういう仕組みの事業なのか。

A 有償運送を各地域で地域主体によって行う事業の支援をする。今年度は地域内のニーズ調査や試行運行に向けた補助事業を行う。

Q モデル地区はこの地区を検討しているのか。

A 事業実施をくらし安全課に示している二川地区と津田地区をモデル地区として検討している。

Q まにわくんを最大限活用したやりかたはできないか。

A 地域の拠点までを地域内の運送をし、それから既存のまにわくんを活用して移動するというやり方も検討する。

産業建設常任委員会

本委員会では、5月16日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■スマート農業を推進

農業振興課から、岡山県を代表機関として、市、岡山大学、J A グループ岡山、㈱中四国クボタ等と共同実証機関を形成し実施する、SDGs 未来都市真庭スマート農業オープンラボについて説明がありました。

農事組合法人寄江原が生産者となり、直進アシストトラクター、直進キープ田植え機、収量・食味コンバイン等や経営管理システムを導入し、収量増と労働時間の削減による集落営農組織の経営の改善を目指します。併せて実施する液肥活用推進事業は、スマート農業の営農管理システムを活用し、コストや効果を実証していくことです。

Q バイオ液肥の効率的な散布体系を確立することだが、機械は市が購入して整備するのか。

A 機械整備については、コスト等を明らかにし、リースや補助金を

等、費用対効果を考え、今後検討する。

■蒜山⇄晴海プロジェクト

産業政策課から、真庭産材を使用したCLTで、東京オリンピックパラリンピックが開催される東京晴海に、隈研吾建築都市設計事務所がデザインし、三菱地所㈱がCLTの構造物を建築、1年間展示施設として運用し、パラリンピック終了後、蒜山に移築する蒜山⇄晴海プロジェクトについて説明がありました。

今年度は蒜山地域振興計画基本構想の策定、地質調査、測量等の基本調査、その他を実施します。蒜山の入込客数30万人から21万人に落ち込んでいる中、CLTパビリオンを真庭全体、湯原等も含めた観光の起爆剤にしたいと考えています。そのためCLTパビリオンの構想だけでなく、蒜山全体の振興計画を作り、その一つとして晴海プロジェクトがあるとの位置づけのことでした。

このプロジェクトに係る移設費用は、工事費4.4億円、晴海の部材（CLT）を購入する部材購入費7.6億円、土地造成費等が別に必要で、移設費用は概算で約16億円を予定しています。

- 夫勝八尚郎 修助
- 辰 壯 史 唯 莊
- 部本本形 司 尾元 井
- 河初岩 緒 庄 長 中 福
- 委員長 員 員 員 員 員
- 委員 委員 委員 委員 委員

す。財源は、地方創生推進交付金、企業版ふるさと納税、過疎債を充てる予定であり、市の実質負担は約3.6億円とのこと。

Q 晴海で展示していた建築物を蒜山に移築と聞いていたが、移築時に7.6億円支払う。部材購入費が高すぎるのでは。

A 1年間の減価償却を見た妥当な金額と認識している。廃材を貰ってくるわけではなく、当初から部材購入前提で話を進めていたが、議会にうまく伝わっていなかったのは説明不足であった。

《湯原振興局》

■湯原温泉観光客の推移

湯原振興局から、湯原温泉の観光データについて説明がありました。湯本温泉館は、30年度の入込客が44,833人。29年度から比べ91%で、4,573人の減となりました。要因は、昨年の7月豪雨の影響により、前年度比7月は63%、8月は87%と大きく減少し、秋は90%台に回復しましたが、夏の影響が大きかったとのことでした。また、湯原温泉の宿泊客数は30年度12万6,702人で、前年度から5,063人の減とのこと。



巫女と使いが温泉に感謝し菖蒲を投入! 6.26露天風呂の日

隈研吾氏設計のCLTパビリオン 晴海プロジェクト

隈研吾氏がデザイン監修、三菱地所が晴海で真庭産のCLTを使用し、建築するパビリオンを、オリンピック、パラリンピック終了後、蒜山に移築するための調査費4,000万円を可決しました。事業費の約7割が普通交付税に算入される過疎対策事業債を活用する

ため、真庭市過疎地域自立促進市町村計画の変更も承認しました。
蒜山⇄晴海プロジェクト推進事業では、建物の配置などを決める基本調査や地質、測量調査を実施し、蒜山内外の振興のため、蒜山地域振興計画基本構想を策定し、調査報告を来年1月に



パビリオンと美術ギャラリー 絵はイメージ

© Kengo Kuma & Associates



絵はイメージ



真庭のCLT

Photo: 北房こども園の階段

行うと発表しました。様々な報道がある中「議会はただ今調査研究中」と市民に伝える必要があると判断し、2ページの特集を組みました。
これまでの経過を記しますと、2月12日産業建設常任委員会で「オリンピック選手村の近くに隈研吾建築都市設計事務所設計の展示施設を三菱地所が建築し、2019年秋から2020年秋までの1年間、文化・情報発信拠点として運用し、パラリンピックが終了したら、蒜山に移築する。」と説明がありました。議員全員が詳細を聞く必要があると判断し、議会全員協議会で説明することを求めました。

2月14日、太田昇市長、三菱地所株式会社執行役社長 吉田淳一氏、建築家 隈研吾氏による「CLT晴海プロジェクト」発表会が東京都三菱地所本社で行われました。同日、真庭では議会全員協議会が開催され、吉永忠洋副市長、前長尾卓洋産業観光部長等が記者発表の内容を24人の議員に説明しました。議員から「なぜ議会に相談なしで事業を進めるのか。議会軽視である。市長自身が説明すべき。」と強い意見があり、市長の出席を求めました。
事業費15、16億を想定
2月20日、太田市長は、「水面下の交渉であり、議会に報告できなかった。事業費は15、16億円を想定している。地方創生交付金等を活用し、実質負担は5億円程度。蒜山にパビリオン棟と美術ギャラリーを併設し、観光客を誘致する。蒜山の風雪に耐えうる建物とする。」が主な内容でした。
3月定例会で晴海プロジェクトに対し、市長の考えを問う一般質問を3人の議員が行いました。
5月9日、真庭商工会、一般社団法人真庭観光局、真庭森林組合、真庭木材事業協同組合からそれぞれの立場で晴海プロジェクトを推進してほしい旨の陳情書の提出があり、6月定例会で審議の結果、継続審査となりました。
費用対効果は高いのか、低いのか。建設場所はどうなのか。どう維持管理するのか。議会は、ただ今調査研究中です。

東京パラリンピック終了後、晴海の パビリオンを蒜山に移築する計画



真庭蒜山

▲蒜山三木ヶ原 蒜山高原周辺から
複数进行调查して場所を選定します



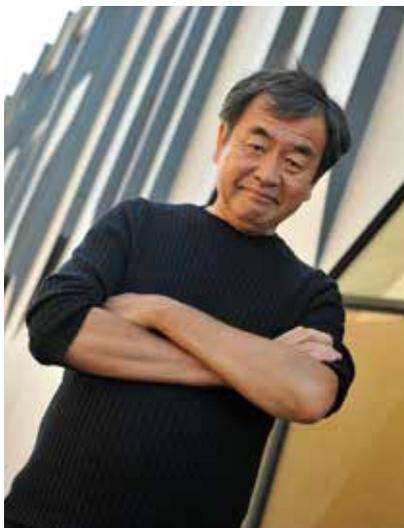
© Kengo Kuma & Associates

三菱地所

三菱地所株式会社の概要
 【設立】1937年5月7日
 【営業種目】オフィスビル・
 商業施設等の開発、賃貸・
 管理 収益用不動産の開発・
 資産運用 他
 【従業員数】899名
 2019年3月31日現在

建築家 隈研吾さん

プロフィール…1954年生。東京大学
 建築学科大学院修了。1990年隈研吾建
 築都市設計事務所設立。現在、東京大学教
 授。これまで20か国を超す国々で建築を設
 計し、国内外で様々な賞を受けている。
 2019年春、紫綬褒章を受章。



© J.C. Carbone

東京 新国立競技場 隈研吾氏 共同設計



掲載しているパースは完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。
 Copyright© 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体



三菱地所本社が入る大手町パークビル

議会はただ今調査研究中

費用対効果は高いのか？

議会定例会
真庭市
6月定例会

6月定例会の議事録は9月上旬から閲覧できます

一
般
質
問

一般質問の記事は800字以内で、質問した議員本人がまとめています

原 秀 樹



外国人ユーザー
起用でPRを!!

近年、全国的に外国人ユーザーを起用して自治体の自然の景観・観光スポット・伝統文化・農畜産品・日本人の気付かない場所等を動画配信してPRを行い、外国人訪問者や移住・定住・関係人口を大きく伸ばし、インバウンドに貢献している事例がある。

岡山県の訪日外国人客数は倍増しており、その6割はリピーターで、東南アジアからの訪日客が、68%を占める。市でもインバウンドに関する計画を策定しているが、内容は日本人の感性や感覚



岡山県発行外国人向パンフレット

で紹介やPRでは限界があるのではないかと。

日本人と外国人では感性に大きな隔たりがあり、外国人の感性や視点で真庭をPRする手法を取入れるべきではないか。

日本人では当たり前の景色や食べ物が見方を変えれば大変魅力的な物であり珍しい物、新鮮な事柄として外国人は捉え映像を拡散する。新たな観光スポットや見所として外国人の視点で関係部署や関係団体と一緒に外国人訪日客を増やすよう試みてはどうか。新しい発想で、県内でも先陣を

答 太田市長

切つて政策を行う事が、市長にはふさわしく、真庭全体が潤うのではないかと考える。

総論として全く同じ意識で、そういう方向でやっていく。ドイツ人が、蒜山の雲の低さに大変感動したこと。北房では、自転車で里山の素晴らしい所を走るなど外国人の目で感じられた事を実現している。インフルエンサーの招聘事業等もつともつと行っていきたい。国際交流員、海外出身の元地域おこし協力隊の方、市内在住の外国人の方々の意見も聞き、国際交流室や観光局と一緒になつて、真庭の地域的価値を上げる取り組みの中で大いに発信し、交流人口を増やし、より活性化が出来るよう進めていきたい。知恵を出せば、お金を使わなくても存在感を出せる。

柴田 正志



治山対策で木製ダムの調査研究を

真庭市の林野面積は市の約8割を占める。昨今の雨の降り方を見ると、森林の整備、治山対策は、安心安全な郷土となる為に河川護岸の強靱化と並ぶ大事な課題であると考える。愛媛県では、荒廃渓流から土砂等の流出を防止するためにモデル的に木製ダムを設置し検証され、3月の報告では木製ダムは小規模なため効果は限定的だが、間伐等の森林整備と組合せて実施すると有効性は高まると分析し、愛媛方式の木製ダム構造基準案を作成した。

この結果を受け、来年度から災害履歴のある流域や潜在的に土石流等の危険性がある流域を対象に順次設置を進めていきたいとのこと。一般に木製ダムは土石流対策として施工される大規模な砂防ダムとしての性能を求められているものでは

ないとされ、直接人家への被害が予測される場所はふさわしくないと考える。昨年の7月豪雨では市内において林道の崩落から始まった土石流が下流に向け30mに渡り発生し、100年生以上の立木を含む山の財産が失われるという被災事例もあった。そういった被害を抑止する効果があるのかも含め、まずは木製ダムの調査研究をしてはどうか。



京都市の台形型木製治山ダム

答 太田市長

ダムというと非常に大きいものを想像するから堰堤と使うが、全国で15道府県に設置され、京都府では100を超えて設置している。かつて私が予算付けして間伐材を用いて建築するよう推奨し、間

伐材で十分で木材振興においても良い。その場所は比較的傾斜の緩い溪流、谷川に設置し、初期段階の崩壊を食い止めるということである。災害防止の観点、間伐材の利用と木材利用の拡大という観点から良い提案であると思う。岡山県へ早速働きかけをしていく。

小田 康文



問 次の時代の観光関係の人材を育成する

昨年地域連携DMOとして一般社団法人真庭観光局が設立された。観光振興の戦略を策定するためにはマーケティングがとても大事である。組織内にその任を担える人材はいるのか。

またDMOに対して3つの見える化が必要ではないか。先ず経済の見える化である。投資利益率の公表、観光消費額を知ると同時にその原価の地域内調達比率はどれくらいか、地域への経済波及効果はどれくらいかを明らかにしないと、地域の方を

巻き込めないのではないかと。次に将来につながる来訪者の見える化が必要ではないか。県や市町村単位の入り込み客数、宿泊客数にとどまらず居住地や性別、年齢、旅行形態、移動ルート、消費単価やリピート率、満足度などを詳細に調べる。そして体制の見える化である。観光のマネジメント体制をもう一度見詰め直し、行政、観光協会、観光関連事業者、住民などの役割を再構築することが求められるのではないかと。3つの見える化が実施されれば、真庭市民全体で取り組むという機運ができると思うが。



「北房地域の新しい観光情報発信拠点! まちの駅 AZAEセンター」

答 太田市長

マーケティングというのは旅行形態の変化、インバウン

ドの増加、地域間競争の激化など、変化の早い観光動向を把握して、取るべき対策の方向性を見きわめるためには非常に重要。今までは不十分だったと思うし、一朝一夕にできるものではない。企業経営、観光のスペシャリストの力をかりながら、次の時代の観光関係の人材を育成する。

答 吉永副市長

3つの見える化が必要という事はその通りである。どこから来たのか、食材とか、その地域の人がどれだけ巻き込まれているのか。それが観光地域づくりそのものであり、その方向で観光局も歩みを進めている。

岩本 壯八



問 介護人材の育成を

急速な高齢化で介護を必要とする人が増えている半面、担い手の介護職員不足が深刻化している。厚労省の推計によると、2025年度には約245万人が必要となり、現状推移の場合約34万人が不

足。人材確保は喫緊の課題。介護の仕事はきついという負のイメージがあり、特に若者に敬遠されているのではないかと。仕事内容など、興味を持つ情報に触れることがないため、職業選択とならないのではないかと。今後、中高生に対して介護の魅力を伝える情報発信が必要。業界と連携し、様々な対策をとるべきだ。

答 太田市長

介護現場との連携を図り、小・中学校の児童・生徒に現場体験学習などを検討しており、年度内に実施する。

問

勝山特産「銀沫」産地化への支援を

勝山地区限定の特産品やまのいも「銀沫」は全国的に珍しい品種。自然薯にも勝るとも劣らない風味と強い粘り、つきたての餅のような食感で幻の山の芋とも呼ばれている。地区内で34戸が栽培。多くのメディアにも取り上げられ、恒常的な品薄状態である。



銀沫を使ったとろろめし 農家の所得向上に有望な特産品でもある。生産地化には、栽培面積拡大や栽培農家の増加

答 新田産業観光部長

種芋補助は難しいが、販路拡大、畝立て機の更新を支援する市単独の農林漁業チャレンジ事業を活用できるので相談いただきたい。

問

保育園・こども園で使用済の紙おむつは園で処分を!

保育園では、使用済み紙おむつをリユックサクや手提げ袋に入れて持ち帰る。家庭での処分や毎日の名前書きも負担であり、着る物や水筒と同じでは衛生的でない。持ち帰りを廃止し、園で処分すべきだ。

答 太田市長

置く場所や衛生上の問題で園での処分はできにくい。今の時点は考えていない。

岡崎陽輔



問 災害に強いまちづくりを

①西日本豪雨災害の教訓と課題について質問する。避難情報など、発信する側と受け取る側の差が大きくあった。自ら命を守る行動は、正しい情報と正しい認識を受



耐震化が急がれる久世公民館

け手側がしっかりと意識して、主体的に学び、関係機関と連携し、関係団体と協働し、命を守る体制、受け皿づくりを地域につくらないと、実効性がとれない。防災リーダーをつくり、地域リスクを地域コミュニティーが学び地域が行動する。地域を能動的に、主体的に命を守る組織に変えていくことを徹底してやってもらいたい。

②防災拠点にある公共施設の耐震化について質問する。真庭市耐震改修化計画は、特定建築物や防災拠点となる公共建築物について重点的に取り組むと明記し、改修率を平成32年度末までに、95%にすると目標設定している。平成28年6月議会で、体育館、公民館等の問題は、公共施設等総合管理計画等の整合性を図り策定の中で、必要なものを耐震化していくことを明言している。計画はできていると思うが結論はできているのか。きちんと命を守る施設を前面に立て、早急に、具体的に論議して、進捗状況を進めるということが本当に必要な。悲観過ぎるほど悲観して想定するのが

命を守る原則だというのが西日本豪雨の教訓だ。

答 太田市長

①地域内の組織との連絡体制の必要性・住民の災害への危機感のなさ・避難所の見直し・地域リーダー不足・個別避難計画の策定と個人情報取り扱い。これらの課題を各地域に出かけ説明し、地域で検討していただく。とにかく最大限のことをして、災害に備えたい。

②公共施設再配置方針も勘案しながら、耐震化について検討したい。久世体育館・久世公民館は、個別検討で、課題として十分認識し、災害対応を考えていく。私も入りそれぞれの所管でも検討したい。

妹尾智之



問

認知症の予防対策、軽度認知障害(MCI)の早期発見

認知症対策については、市内でも積極的に活動が進められている。全国的な傾向と



少量の採決で診断 MCIスクリーニング検査

して、本人や御家族等が認知症に気づき、医療機関で診断を受ける頃には、認知症は中期のステージを迎えていることが多く、診断の遅れから重篤化するケースも散見されている。これまでの認知症の方が対象となる認知症対策に加え、まだ健康な方々を対象とする認知症予防対策の早期構築と実現が必要であると考える。

健康な状態と認知症の間に位置する予備群とされる軽度認知障害、MCIと呼ばれる状態に着目し、予防介入を行うことが認知症の発症や重篤化の予防にとって最も重要かつ効果的である。健康な方や軽度認知障害の方の定期的な認知機能評価に

最適とされる認知機能検査がある。

私たちでも受けられる認知機能の定期チェックの機会を提供し、潜在的に存在する軽度認知障害の顕在化と積極的な予防介入を行う認知症の予防対策の手段として、健常者から軽度認知障害群の方の認知機能評価に適した頭の健康チェックを導入し活用をすべきであると考えるが、市長の考えを伺う。また、MCIスクリーニング検査というのがあり、微量、少量の採血のみでわかるそうで、医師会とも連携をし、啓発すればと思うがいかがか。

答 太田市長

真庭市として人権も大事にし、考慮しながら認知症予防を推進していく。また、認知症になっても重度化を予防して尊厳ある自分らしい暮らしができる、共生のまちづくりを進めていく。デリケートな問題だと思うが、医学の進歩の成果も踏まえながら、個人の問題であり社会の問題であるから、重要な問題として捉まえて対応する。

大月説子

問

要支援者の個別計画を策定

豪雨の危険性が懸念される中で、避難行動要支援者の個別計画の策定を急ぐ必要がある。作成に当たっては、介助の程度や地域性、さらには個人情報保護等考慮すべきことが多く、自主防災組織や支援関係者にお任せでは計画が進まないばかりか、対象者の選定にばらつきが出るのではないかと懸念し策定方針を伺う。



答 太田市長

関係部局の情報会議を開き庁内体制を整え、地域に向いて必要な支援を行っていく。7月には要支援者の基本情報を共有して、台風シーズンを視野に入れてある程度のものを作ることを目指す。

問

職員のワークライフバランスを推進

働き方改革関連法案が参議院で可決され、中小企業では2020年4月から実施されることになった。この法案のポイントの一つが、ワークライフバランスの実現である。そこで真庭市の推進方針を伺う。

答 太田市長

夏季特別休暇制度の5日取得の推進や、毎週水曜日のノー残業デー等を行っている。そして、働き方改革関連法案の改正を受けて、5月の理事会で時間外労働の縮減、年次有給休暇の5日以上 の確実な取得などを呼び掛けて、全庁を挙げてワークラ

イフバランスの推進の指示と周知をした。しかし一方で、真庭市職員の質の向上、効率化を行っていかねばならない。
答 三ツ教育長
これは大きな社会問題にもなっている。現在それぞれの学校で働き方改革を推進している。行事の精選、業務の効率化や見直し、定時退庁日の設定、最終退校時刻の設定等を行っている。合わせて、教職員が一人で悩みを抱え込まないように対話の促進に取り組んでいる。
問 庄司史郎
市政を行う上で重視し、大切にしているものは何か
市役所という組織を考えたときに、下から上まできちんと物が言えて、言いたいことが伝わっていく、民主的な風通しのいい組織であるべきと思う。もう一つ大切にすべきことは、主権者である市民の声に耳を傾ける、声を聴



安全に集団登校中

く、議会の声も、職員の声もしっかり受け止めることを大切にすべきと思うが、市長の考えを伺う。

答 太田市長

風通しのいいというか、組織というのは本当にやろうという思いになって、一プラスーが三にならないうと組織ではないと思っている。私も不十分なところもあるかもしれないが、どう自由闊達な議論になるか、雰囲気になるかということを重視している。それから、主権者の方、議会、そういう声を大事にするのは当たり前で、しているつもりである。不十分なことがあれば、個別に教えていただければ有難い。

問

園児の園外活動、通学路の安全対策は

市においては、散歩等の園外活動で利用する道路、児童の通学路等の安全点検はどう対応しているか。安全対策はどう行っているか。

答 太田市長

園外行事を実施する場合、事前に園の職員が行程や現場の下見に行つて危険個所を確認し、子育て支援課に届け出をして実施することになっている。出るときには複数以上の職員が引率するようにしている。

答 三ツ教育長

三つの視点で安全確保、安全対策に取り組んでいる。一つ目は安全教育、二つ目は安全確保、三つ目は通学路の安全点検と改善。通学路安全推進協議会を設置して、通学路の合同安全点検を実施している。見守り活動を強め、危険個所の確認と改修も含め、安全確保に努めていく。

初本 勝



問 HPPで災害支援策の告知を

猟友会の皆さんの努力により、相当数が減っているという報告があった。これ以上に頑張っていたことが一番だが、なかなか難しいところがある。野猿・カラスは、鉄砲で撃つことが難しく、現時点では追い払うのが一番の方法である。野猿は、ドローンで追い払い、怖いと思った時には、その地区には出ないのではないか。

答 太田市長

野猿・カラス・イノシシの対策は、ドローンを使って有害鳥獣を追い払うのはどうかという話だが、有害鳥獣対策は、放置果樹等の誘因物の撤去、防護柵の設置、猟友会の捕獲が基本となっている。野猿・カラスは学習能力が高く、恐怖心を与えてもまた来るといことがあがるが、効果はある。ドローンで追い払うことも、一定の効果はあると



大空を舞うドローン これを猿を追う

てくる課題ではあると思う。出来る限り投票し易い条件をつくるのは、私どもの責務だと思っている。公共交通手段が確保出来ない方は、家族、地域の方と乗り合わせて投票されるのが実態だと思う。移動投票所の設置は、なかなか難しい。

問

移動投票所の設置を

周辺部の投票を促すために、移動投票所を設置出来ないか

答 太田市長

真庭市になってから、投票所を35カ所で再編はしていない。人口が減ると、今後出

谷本 彰良



問 蒜山・三木ヶ原に周遊道の整備を

三木ヶ原のポプラ並木は、岡山県を代表する景観でした。昭和37年の岡山国体の時に植栽されたが、平成9年の台風被害で数本を残すのみとなった。平成23年に岡山後楽園ロータリークラブからもみじ葉楓100本の寄贈を受け並木道の再生に取り組んでいるが、並木道は立入禁止で

答 太田市長

ある。この並木道を開放して蒜山の魅力アップに繋がらないか。また、中四国酪農大学の牧場を一周する周遊道に出来ないか。そよ風でも葉が揺れ、音が出て、蒜山にも自生している山鳴(やまならし)の植栽はどうか。蒜山を中心に中国地方をゆっくりと観光する周遊プランを、ネクスコ西日本に働きかけは出来ないか。

害虫に弱く寿命が短い。並木道にどういうものがふさわしいのか、知恵をいただきながら検討していく。蒜山の滞在を広域観光の中で伸ばしていく、そういう中でネクスコ西日本との連携が出てくる。ある程度広域で、その中で魅力を出したところが勝つ。だから、広域的な高速道路を使った周遊プランをもっと充実させるように働きかける。

蒜山の魅力を出して滞在時間を延ばしていく。豊かな自然と文化と融合した蒜山ならではの観光地を作らないとだめだと思う。並木道一帯は県有地、キャンプ場は環境省が所管。国立公園の満喫プランでキャンプ場の整備を計画しているが、その中には含まれていない。あの道を生かさないと手はないし、周遊になればいい。早速酪農大と話をし、策定予定の蒜山地域の振興計画に入れていきたい。提案の山鳴、風が吹くと音を出す風情のある木だが、根が浅く風の影響で傾いたり、



蒜山三木ヶ原 1周約2.4kmの周遊道

山本久恵



問 非正規労働者対策は

市長は「未来へつなぐ真庭ライフスタイル」の実現を目指して、未来を担う人、魅力ある地域づくり、経済の循環等を推進するとの事だが、現在は、妊娠から義務教育終了まで、手厚い支援で環境が整備されている。

ような仕組みか何う。

②SDGsの目標の⑩番に「不平等をなくそう」がある。真庭市の未来都市計画には「ステイクホルダーとの連携」を掲げており、若者や女性が働きたくなる魅力ある企業づくりについて、市から企業へ協力依頼を願う。

答 太田市長

①この子ども達を育てている親達(第2次ベビーブーム世代)の生活や環境は、いかがなものか。この前後の世代は、就職氷河期で、非正規雇用で働いている人が多く、厚生年金へ加入も出来ず、老後の社会保障も十分ではない。誰もがいきいきと暮らせる仕組みとは、具体的にどの

①誰もがいきいきと暮らせる仕組みとは、「真庭ライフスタイル」の実現で、そのためには、安定した生活基盤が不可欠である。そして幸せを実感するためには、健康でなければならぬ。貧困と格差、地域における格差問題が、大きな課題となっている。一番必要な事は、一人一人が利口な主権者として動いていく事で、非正規雇用問題だが、今は高度成長の工業社会ではない。何

⑧成長・雇用

8

働きがいも
経済成長も

⑩不平等

10

人や国の不平等
をなくそう

SDGs ロゴマーク

か安定的な雇用形態というものが無いが模索中で、日々自己研鑽した。職員の私を含めて資質を上げていく事も必要。一人一人の個性と可能性を伸ばして、誇りと未来への希望を持った子ども育てていくには、親や家庭や地域が変わらなければならぬ。

②SDGsを推進し、市民・企業行政皆で意見を出し、議論しながら誰も取り残さない真庭を永続的に発展させていきたい。

問 柿本健治



森林経営管理法の運用策

森林経営管理法では、経営管理集積計画を作成する事により森林所有者の委託を受けて経営管理権を取得できるような措置できるとし、林業経営に適した森林は林業経営者に委託する。林業経営に適さない森林については、市町村による森林経営管理事業を行うとしている。

森林環境の悪化と共に野生動物と人間の共存が脅かされ

る状況に

なっており、鹿・猪・猿などによる農作物への被害だけでなく、熊などの出没情報も相次いでいる。経営管理権集積計画策



里山の風景 社地区

問

地方分権改革と介護保険制度の取り組み

介護保険制度は地方分権のトップバッターと言われてスタートし19年目を迎えている。この間制度改正が行われる度に画一化した制度へ移行しているように感じる。住環境が異なる地域で生活している高齢者への支援策は、画一的なものでは対応しきれない。

答 太田市長

野生鳥獣と棲(す)み分けが重要というの誰しも一致するところである。鹿・イノシシについては有害鳥獣の捕獲強化として、集落ぐるみの防護対策をとって頂く。一番良いのはバッファゾーンを作る事であるが、今は減少面の対策を取らざるを得ない現状である。

答 太田市長

介護の社会化という理念は持ちながら応用問題を解いていく必要がある。画一的でなく、地域にあった形で知恵を出して頂きながら真庭としてはこういう介護システムを一緒に考えていきたいと思っている。



古南議長 全国市議会議長会へ

新しく選ばれた古南源二議長が、6月11日東京で開催された全国市議会議長会定期総会に出席し、国に対して要望する事項を決めました。5月23日の岡山県市議会議長会総会と5月29日の中国市議会議長会定期総会へは、緒形尚副議長の2人で出席しました。長尾修前議長の全国市議会議長会産業経済委員会副委員長の職は、6月11日をもってその役目を終えました。写真は会場の東京国際フォーラム。



スマート農業の可能性を探る

SDGs未来杜市・真庭スマート農業オープンラボお披露目会が、6月4日に寄江原圃場内にて行われました。集落営農を、次世代に引き継ぐため新技術に感心を持つ若い担い手の確保・育成が重要であり、自動直進のトラクターやドローンによる防除・追肥など、実証を行っていきます。写真は太田市長の田植機乗車。



祝 5位入賞の湯原方面隊

5月19日岡山県消防学校にて、第66回岡山県消防操法訓練大会がありました。湯原方面隊（ポンプ車の部）と久世方面隊（同部と小型ポンプの部）が真庭圏域の代表で出場。湯原方面隊は、5位入賞、真庭市消防団は、5年連続入賞を果たしました。おめでとうございます。写真は入賞した湯原方面隊。



議会改革 全国96位

今年で9回目となる早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査で真庭市議会が全国96位と発表されました。全国1,788議会を調査対象としており、一昨年が571位、昨年が156位、今年が96位という順位になりました。井原市が88位で、残念ながら岡山県トップとはならず、第2位でした。

ちなみに全国1位は北海道芽室町議会です。



新規就職者激励会

太田市長から記念品を受け取る白石さん

5月21日、新規就職者激励会が27事業所・90名の出席をいただき開催されました。

古南議長から、真庭市に就職されたことへの感謝と今後の活躍に期待していると激励の言葉を贈りました。新規就職者を代表して、(株)古見屋羊羹・白石和香菜さんが「職場の先輩、地域の皆様のご教示を賜り、社会人として大きく成長していきたいと思う。より良い地域づくりに務め、実りある人生にしたい」と、力強く宣言されました。



木材は最先端な素材と語る隈氏

氏は、その地域に根ざした様々な素材を生かした建築を世界各地で展開しています。晴海プロジェクトでは、真庭市産のCLT材を使用した施設をデザイン監修する予定です。

建築家・隈研吾講演会

5月27日、旧遷喬尋常小学校講堂にて建築家・隈研吾氏を迎え「素材との対話」をテーマに民間主催の講演会が行われ、150人が参加しました。新国立競技場の共同設計者として知られる隈

議会

の

動き

4月 5月 6月 7月編



議運

4月25日、委員改選後初めての議会運営委員会（議運）を開催しました。この日は、議会報告会＋市民と語る会の日程と訪れる地域を協議しました。文字どおり議会をスムーズに運営するための委員会です。3常任委員会から委員長と1人が選出され6人で構成します。議長と副議長がオブザーバーとして会議に出席し、委員の中から築澤敏夫委員長、福井荘助副委員長が選出されました。

写真は議会運営委員会メンバー。

はじめての全協

議会全員協議会のことを全協と呼びます。役員改選後初めての全協を

4月26日に開催しました。この日、最も時間を要したのは議会報告会＋市民と語る会の議事録を業者委託を行うか議員自身が行うか協議しました。結果、議員が要点記録を行うことに決定しました。

全協は、執行部からの重要施策の説明などもあります。太田市長が晴海プロジェクトの説明を行ったのも全協でした。写真は議会全員協議会の様子。



委員会報告会

委員改選後初めての委員会報告会が5月22日に開催されました。各委員会が活動の内容を報告する会で、報告者に質問は行わないこととしています。

原秀樹総務常任委員会委員長が16分、岡崎陽輔文教厚生常任委員会委員長が20分、河部辰夫産業建設常任委員会委員長が10分、氏平篤正議会広報編集特別委員会委員長が12分で委員会での内容、委員の質疑等、各委員会の活動をまとめて報告しました。



4階委員会室で



はじめての総務委員会

5月12日、新しいメンバーになって初めての総務委員会が開催されました。

消防本部、危機管理課、総務課、財政課、財産活用課、税務課、債権回収課、会計課、総合政策課、交流定住推進課、秘書広報課より事務分掌、主要事業について説明を受け、各委員から活発な質疑がなされました。写真は説明を受ける総務常任委員会。

文教厚生常任委員会

初めての文教厚生常任委員会が、5月11日に開催されました。本委員会は、教育委員会、生活環境部、健康福祉部、湯原温泉病院の事業について岡崎委員長のもと、執行部と各委員が意見交換を行いました。市民の暮らしを充実させるべく課題解決に取り組んで参ります。写真は議論する文教厚生常任委員会。



産業建委の様子

産業建設常任委員会

5月13日、蒜山・北房・落合・勝山・美甘・湯原の各振興局、産業観光部、建設部から、主要事業・事務分掌及び指定管理施設の本年度更新対象施設（コスモスの里特産品ふれあいセンター・勝山堆肥センター）の概要についての説明を受けました。

また、本年度実施する議会報告会の委員会報告内容を検討し、昨年7月の豪雨災害の状況を報告することにしました。



完熟トマト 直

「市民と議会のいい関係づくりのため、がんばりますので、よろしくお願いいたします。」
 議会広報編集
 特別委員会

水墨画「鮎」
道下房子



ペットボトル
KYO



議会 広報



水墨画「菊」
森上和子



傘寿の祝い旅 2班⑤



改修した旧上田小の宿泊施設 もとこ

真庭の花火

7月27日(土)美甘夏まつり、落合納涼花火大会
 8月8日(木)湯原はんぎ祭り、8月13日(火)中和ふるさと祭り、8月14日(水)久世リバーサイドフェスティバル、8月15日(木)ひるぜん花火大会



イメージ写真 モデル:小林あづ佐



蒜山西茅部
砂村 英幸さん

語る会にもっと時間を

議会報告会+市民と語る会に初めて参加しました。議員さんが一方的に話す報告会より、市民と語る会に時間をたくさん使った方が良いと思います。

地域の課題や市民の要望を聞く会だと浸透すると若い人も参加しやすくなるのではないのでしょうか。



真庭市社
牧田 功士さん

地域の力を結集する

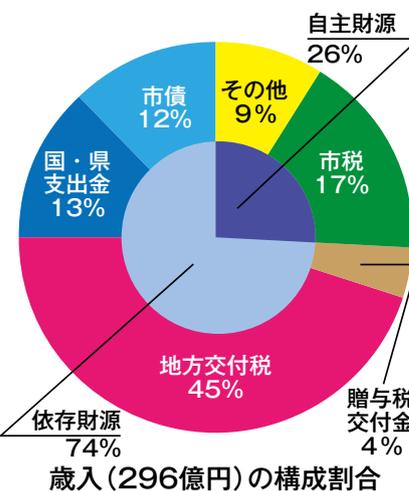
議員さんと意見交換することは、地域にとっても良い機会であった。併せて、市政や議会に関心を持つ良い機会となった。野生鳥獣被害や地域振興について、具体的な話が聞けた。我々市民も、行政や議会に頼るだけでなく、地域の力を結集して地域課題に取り組んでいく。

ハガキとおしゃべり...

Q 最近背広の襟に大きなカラフルなバッジを付けている人を見かけます。国会議員、真庭市長、市議会議員も付けていますが、何のバッジですか。



A 持続可能な世界を創るSDGsを推進するバッジです。国連が定めた17項目を表す17色を使用しています。①貧困をなくそう②飢餓をゼロに...⑰パートナーシップで目標を達成しよう などの目標があります。



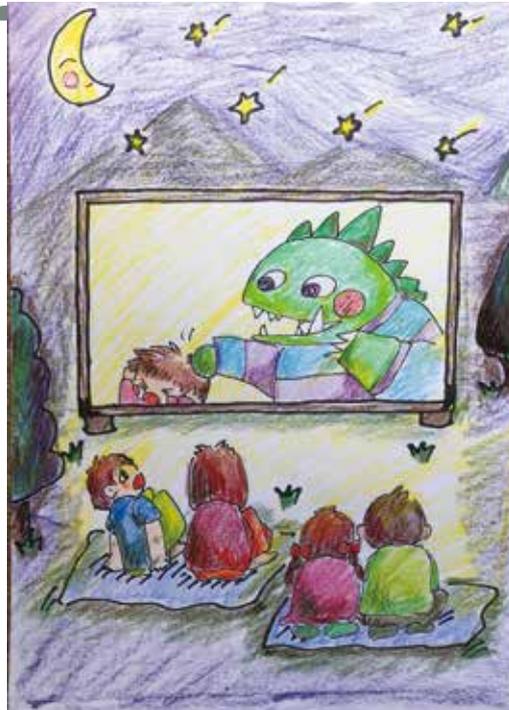
お詫びと訂正
 議会広報第56号6ページの歳入構成割合の円グラフが間違っていました。正しい円グラフを掲載しお詫びします。

報告会に参加して

ハガキありがとう

市民の 広場

ここは市民みんなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください



キッズシアター 山本芳信



こころとみらい ゆうか



仲良し兄弟 優+陽



むぎちゃん りさ



萩山ではじめての乗馬 ちいとゆう



反対側から見た市役所の櫓 Toku



縁起村へようこそ 吉(よし)入口の看板 藤原



被災地で活躍するC-2輸送機 美保基地 MO

6月議会市長諸報告の中でうれしい話題を2つ紹介されました。
▼美甘で江戸時代から続く「しげや旅館」の笹尾充氏が「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」の地方創生賞を受賞。食を通じて地域を支えた思いと活動が評価されました。
▼6月15日から3日間、軽井沢で開催されたG20持続可能な成長のためのエネルギー転換及び地球環境に関する関係閣僚会議の会場近くに「淀川テックニック」柴田英昭氏作の「真庭のシシ」が展示され、真庭をPRしました。「真庭のシシ」は瀬戸内国際芸術祭の期間中、玉野に居ます。

うれしい話題2つ

BO集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。
「投稿! 言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。
応募先 真庭市議会
宛先:24ページの緑帯欄に記載しています

▲真庭のシシ 旧遷喬小で

9月定例会の日程

- 9月3日(火)本会議(開会・提案説明)
- 6日(金)本会議(一般質問)
- 9日(月)本会議(一般質問)
- 10日(火)本会議(一般質問・議案質疑)
- 11日(水)12日(木)13日(金)常任委員会
- 17日(火)18日(水)決算審査特別委員会
- 19日(木)20日(木)予算審査特別委員会
- 26日(木)本会議(委員長報告、採決、閉会)
- 会議は通常午前9時30分に開会します。
- 正式には8月26日の議会運営委員会で決定します。



お知らせ

9月定例会の請願・陳情は 8月30日(金)まで

9月定例会の請願と陳情の受付は、8月30日(金)までです。
12月定例会の締切は11月29日(金)、来年3月定例会の締切は1月31日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝祭日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。
請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

議会クイズ

7月に開催された、地域の話題をざっくばらんに語る会は
“議会報告会+〇〇と語る会”

正解者の中から5人に「落合羊羹」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ緑欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



5社の羊羹 各1名に

前号の応募総数は21通で、正解者21人でした。ご応募ありがとうございました。



ふるさと1枚

この夏蒜山に行こう!蒜山IC近くのスイトン。スイトンは悪い人を食べる妖怪。スイと現れ、トンと1本足で立つ!というお話

女性議員の割合

議員長	氏平正
副議員長	大月篤
委員	緒形尚
委員	谷本良
委員	初本彰
委員	山本久
事務局	南俊樹

平成29年4月の市議会議員選挙で、2名(83%)の女性議員が真庭市に誕生しました。では、全国の女性議員の割合はどのくらいなのでしょう。か。
Japan Dataは2018年の日本の女性国会議員比率は10.2%で、193力国中165位と発表しています。また、平成26年の内閣府男女共同参画局の調査では、都道府県議会は8.9%、政令指定都市議会は16.6%、市議会13.2%、町村議会8.7%と発表しています。平成11年6月に男女共同参画社会基本法が成立し、内閣府は女性議員の割合30%を目指すとしています。が、まだまだ政治の世界は男性社会です。
真庭市議会に女性議員が加わったことによる変化を職員に質問したところ、男性議員の言葉づかいが変わり、明るい雰囲気になったと声を聞きました。しかし、女性が議員として活動していくためには、活動の時間確保や子育て支援など解決しなければならない課題が有ります。また議員は、外部環境や内部環境の変化に対する情報や知識を得る努力が必要でハードルが高いのも実感です。(文・大月)

議会よもぎら話

議会改革 新たなステージへ

真庭市議会広報まにわ 第57号

令和元年8月1日発行 TEL 719-3292
発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL(0867)42-1272 FAX(0867)42-1420
URL <http://www.city.manawa.lg.jp/>(真庭市ホームページ)
Eメール gikai@city.manawa.lg.jp